

野菜の需給・価格動向レポート(平成23年4月1日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類		2月の価格動向		3月の価格動向			生育及び価格の4月の見通し	
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額			
					上旬	中旬		
			下旬					
葉 茎 菜	キャベツ	88.05	111	88.05	90	103	・入荷見込量：－ ・主産地：愛知（44）、神奈川（43）、千葉（7）	・愛知産は玉肥大もよく生育は順調で平年並みの出荷となっているが、出荷は終盤を迎える。春系はほぼ終了し、寒玉は下旬までの出荷となる。神奈川産の春キャベツは、1月の低温・少雨の影響により1週間～10日間生育が遅れており、下旬から本格的な出荷の見込み。 ・愛知産の順調な出荷量が見込まれることから、価格は平年並みで推移する見込み。
		79.74	117	79.74	87	101	・入荷見込量：4,200t（110） ・主産地：愛知（44）、兵庫（13）、大阪（12）、三重（9）、鹿児島（8）、和歌山（6）	
	ねぎ （関東：白ねぎ。 関西：青ねぎ）	229.99	306	229.99	310	312	・入荷見込数量：－ ・主産地：千葉（42）、埼玉（28）、茨城（11）	・千葉産の出荷は少なめに推移していたが回復傾向にあり、今後は平年並みの出荷となる見込み。埼玉産は生育が遅れ少なめの出荷が続く見込み。 ・主産地の千葉が平年並みの出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		450.51	461	450.51	382	334	・入荷見込数量：220t（100） ・主産地：徳島（22）、大阪（18）、三重（14）、香川（13）、奈良（11）、高知（11）	
	はくさい	64.34	67	64.34	70	98	・入荷見込量：－ ・主産地：茨城（90）、兵庫（7）	・茨城産の生育は順調、出荷量は一時減少したが回復傾向にある。兵庫産は冷蔵主体の出荷で、出荷は終盤を迎えて減少傾向。 ・茨城産の出荷量が回復傾向にあることから、価格は平年よりやや高めながら落ち着いてくる見込み。
		76.33	79	76.33	75	103	・入荷見込量：3,100t（95） ・主産地：茨城（28）、長崎（22）、熊本（19）、福岡（12）、大分（6）	
	ほうれんそう	307.66	343	307.66	321	435	・入荷見込量：－ ・主産地：群馬（32）、茨城（29）、埼玉（18）	・入荷量の過半を占める茨城産・群馬産の出荷制限に伴い、出荷量は大幅に減少の見込み。埼玉産は順調で、前年より多めの出荷となっている。 ・出荷量は減少しているが、需要が弱いので価格は平年並みに推移する見込み。
		341.25	357	341.25	225	319	・入荷見込量：500t（94） ・主産地：徳島（28）、岐阜（27）、福岡（18）、大阪（11）	
	レタス	259.83	215	210.15	165	164	・入荷見込量：－ ・主産地：茨城（64）、兵庫（14）、香川（7）	・茨城産は気温の上昇とともに生育は順調。茨城産の価格が下がったことから生産者は出荷を控えていたが、値頃感から需要がでてきており、L品を中心とした出荷になっている。 ・生育が順調なことから出荷量は潤沢と見込まれ、価格は平年を下回る見込み。
		238.68	243	214.33	168	173	・入荷見込量：1,500t（111） ・主産地：兵庫（58）、徳島（13）、香川（11）、茨城（11）	
	たまねぎ	76.15	144	76.15	144	140	・入荷見込量：－ ・主産地：北海道（45）、佐賀（37）、輸入（9）	・北海道産は小玉傾向かつ成品率が悪いことから、出荷量は平年を下回る見込み。佐賀産は1月の降雨と低温でやや生育が遅れ、極早生のピークは前年より5日程度遅れて4/7～9日となる見込み。作付面積も増えていることもあり、4月は少なかった前年の2割増の見込み。 ・佐賀産の出荷量の増加が見込まれることから、価格は高めながらやや平年並みに近づく見込み。
		76.15	149	76.15	145	135	・入荷見込量：4,100t（101） ・主産地：佐賀（38）、北海道（25）、長崎（15）、兵庫（10）	
果 菜	きゅうり	370.98	318	253.93	283	250	・入荷見込量：－ ・主産地：埼玉（31）、群馬（21）、千葉（13）	・埼玉産、群馬産ともに生育は順調で、平年を上回る出荷となる見込み。 ・順調な出荷が見込まれる一方、需要が減退していることから、価格は平年を下回って推移する見込み。
		350.33	312	242.77	267	251	・入荷見込量：1,600t（109） ・主産地：宮崎（50）、高知（16）、徳島（14）、愛媛（6）	
	トマト	332.6	388	323.6	382	363	・入荷見込量：－ ・主産地：熊本（21）、栃木（21）、愛知（13）	・熊本産は1月の低温、最近の低温の影響で小玉傾向だが、平年並みの出荷となっている。下旬からは増加の見込み。栃木産は一部地域で震災の影響によりハウスの倒壊等により低温障害等が発生したが、それ以外は順調な生育となり、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれる一方、需要が減退していることから、価格は平年を下回って推移する見込み。
		311.06	382	321.78	371	347	・入荷見込量：1,050t（99） ・主産地：熊本（44）、福岡（24）、愛知（10）、徳島（8）	
	なす	389.03	385	347.77	378	351	・入荷見込量：－ ・主産地：高知（48）、福岡（18）、熊本（9）	・高知産は生育は順調だが、今後は成り疲れとなり中旬以降は減少の見込み。福岡産は気温の上昇、日射量の増加で出荷量が回復し平年並みの出荷となる見込み。 ・順調な出荷が見込まれる一方、需要が減退していることから、価格は平年を下回って推移する見込み。
		397.74	379	348.37	375	337	・入荷見込量：730t（119） ・主産地：熊本（25）、高知（20）、福岡（19）、大阪（14）、岡山（13）	
	ピーマン	501.13	620	501.13	588	588	・入荷見込量：－ ・主産地：茨城（56）、宮崎（22）、高知（13）	・茨城産は、生育は順調。宮崎産・高知産も生育が順調。 ・順調な出荷が見込まれる一方、需要が減退していることから、価格は平年を下回って推移する見込み。
		467.19	585	467.19	573	570	・入荷見込量：390t（114） ・主産地：宮崎（57）、高知（26）、鹿児島（7）、和歌山（7）	
根 菜	だいこん	83.19	73	83.19	78	81	・入荷見込量：－ ・主産地：千葉（78）、神奈川（14）、	・千葉産は生育は順調だが、前年より少なめの出荷となっている。神奈川産は終盤を迎え、上旬には出荷を終了し出荷量は平年を下回る見込み。 ・需要が弱いことから、価格は平年を下回って推移する見込み。
		84.7	76	84.7	84	84	・入荷見込量：2,800t（89） ・主産地：長崎（30）、鹿児島（24）、福岡（19）、香川（11）	
	にんじん	96.24	158	96.24	164	201	・入荷見込量：－ ・主産地：徳島（70）、千葉（10）	・徳島産は1月の降雨や低温の影響で、若干の遅れがみられたが4/10以降は遅れていた分と通常の生育のものの出荷が重なることから、増加する見込み。千葉産は少なめの出荷量で、平年より早めの切り上げりの見込み。 ・徳島産の出荷量が増加すると見込まれることから、価格は高めながら平年に近づく見込み。
		104.73	150	104.73	151	185	・入荷見込量：2,200t（83） ・主産地：徳島（63）、鹿児島（17）、長崎（10）	

種類		2月の価格動向		3月の価格動向		生育及び価格の4月の見通し	
		（参考） 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額	（参考） 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額		
			下旬		上旬		中旬
いも	さといも	217.95	300	217.95	299	307	・埼玉産は夏の少雨の影響で小玉傾向、前年の出荷量を約2割下回る見込み。千葉産も夏の少雨、10月の降雨の影響で、生育不良がみられ、前年の出荷量を下回る見込み。 ・価格はやや高めで推移する見込み。
		219.65	341	219.65	292	304	
	ばれいしょ	88.17	151	88.17	158	165	
		88.17	135	88.17	146	164	

1）平均価格は、過去9年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均（消費税は除く）。  
2）旬別平均販売価額の背景なしは保証基準額を上回るもの。背景ありは下回るもの（消費税は除く）。  
3）単位は円／kg、上段は関東、下段は近畿ブロック

1）入荷見込数量（近畿）は近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。（ ）内は前年対比。さといも（近畿）は前年実績。  
2）主産地は東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。（ ）内は入荷シェアであり、関東・近畿ともに前年の実績。  
3）コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したものである。

2 野菜の需要動向

家計調査でみると、2月の1人当たりの生鮮野菜の購入量は、4,267gで前年比96%、購入金額は、1,629円で同103%となり、購入量は前年を下回り、購入金額は前年を上回った。  
また、小売物価統計によると、3月のキャベツの小売価格は194円で過去5年平均比107%、レタスは401円で同88%となり、キャベツは5カ年平均を上回り、レタスは下回っている。

1 生鮮野菜の購入量及び金額

(1人当たりの購入量、金額)

年	過去5カ年平均		平成22年		平成23年			
月	購入量 (g)	金額 (円)	購入量 (g)	金額 (円)	購入量 (g)	前年比	金額 (円)	前年比
1月	4,189	1,529	4,240	1,551	4,310	102	1,573	101
2月	4,391	1,544	4,461	1,574	4,267	96	1,629	103
3月	4,767	1,695	4,970	1,768		0		0
4月	4,732	1,808	4,518	1,884		0		0
5月	5,094	1,902	4,925	1,965		0		0
6月	5,033	1,880	5,026	1,907		0		0
7月	4,438	1,683	4,264	1,697		0		0
8月	4,272	1,732	4,241	1,733		0		0
9月	4,868	1,806	4,606	1,818		0		0
10月	5,314	1,849	4,994	1,959		0		0
11月	4,997	1,614	4,678	1,774		0		0
12月	5,212	1,817	5,177	1,887		0		0

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯農林漁家世帯を除く)」

2 主要野菜の月別小売価格(東京都都区部)の推移

(単位：円/kg)

	キャベツ			レタス		
	過去5カ年平均	平成23年	5カ年比 (%)	過去5カ年平均	平成23年	5カ年比 (%)
H22.7月	149	164	110	315	317	101
8月	159	166	104	449	536	119
9月	153	155	101	472	515	109
10月	146	192	132	419	668	159
11月	129	265	205	339	520	153
12月	146	185	127	456	393	86
H23.1月	189	186	98	618	502	81
2月	173	228	132	496	635	128
3月	181	194	107	455	401	88
4月	250		0	464		0
5月	185		0	399		0
6月	159		0	360		0

注1：過去5カ年はH22.7～はH17～H21、H23.1～はH18～H22の平均  
注2：3月の値は、3月中旬の速報値

資料：総務省統計局「小売物価統計調査報告」

3 野菜の輸入動向

平成23年2月までの輸入量を貿易統計でみると、生鮮野菜は前年比134%の17万トン、野菜輸入量全体では同118%の45万トン、うち中国産は同121%の22万トンとなり、引き続き前年を上回っている。

また、平成23年3月の輸入量を植物防疫統計（3/19までの速報値）でみると、にんじんが前年比214%（うち中国が同281%）となっており大きく増加している。

野菜等の輸入数量の推移について

(単位：トン、%)

区分	平成21年		平成22年		平成23年1～2月		平成23年2月
		前年比		前年比		前年同期比	前年同期比
生鮮野菜	615,271	102	820,687	133	168,013	134	129
加工野菜	1,569,627	95	1,677,840	107	281,957	110	98
野菜輸入量合計	2,184,898	97	2,498,527	114	449,971	118	109
うち中国産野菜合計	1,098,415	95	1,284,449	117	220,138	121	111
中国産シェア	50		51		49		46

資料：ペジ探（原資料）財務省「貿易統計」

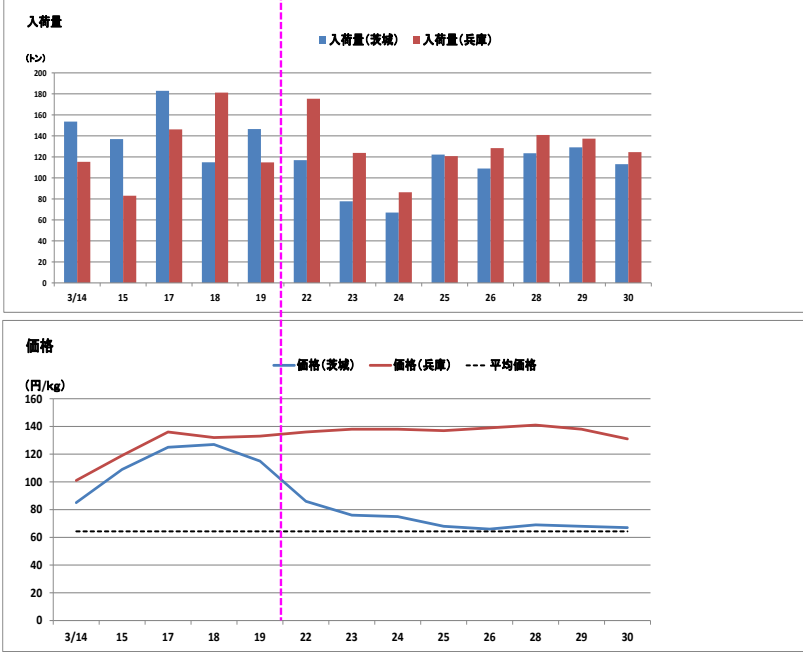
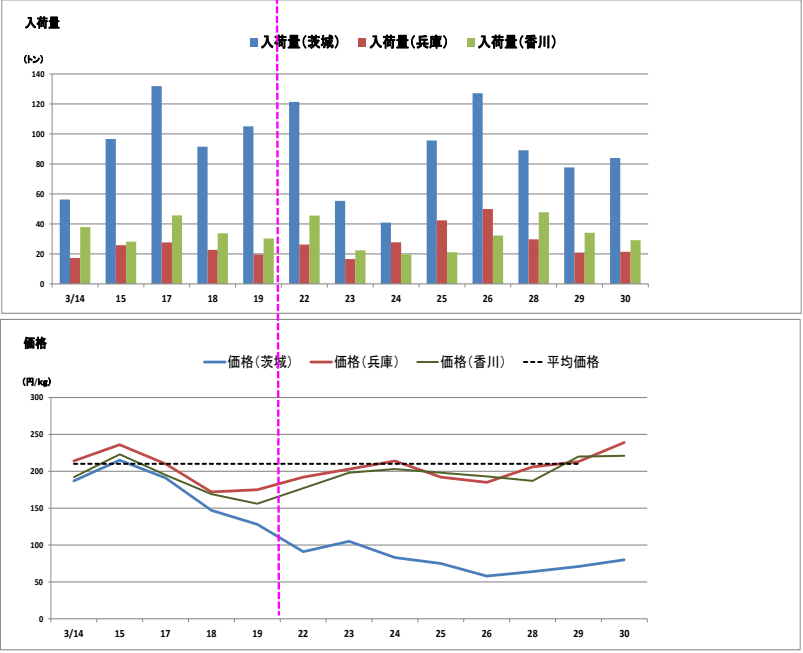
主な野菜の輸入動向

(単位：トン、%)

品目	輸入先	(A)2010.3	(B)2011.3	(B)/(A)
たまねぎ	合計	33,541	28,283	84
	中国	16,753	13,917	83
	米国	5,419	8,243	152
にんじん	合計	3,966	8,472	214
	中国	2,230	6,274	281
	台湾	792	1,381	174
ねぎ	合計	4,380	3,682	84
	中国	4,377	3,681	84

資料：農林水産省「植物防疫統計」（2011.3）は、3月第3週（3/19）までの速報値である。

4 トピック

茨城県産葉菜類の入荷及び価格について  今の時期、茨城産が主産地となっている葉茎菜類ははくさい及びレタスであるが、ほうれんそう等について出荷制限指示がなされた3月21日以降、 ①入荷は23日、24日は急減したが、25日以降回復しつつある。 ②価格は他産県に比べ低迷している。 いずれも生育は順調で供給量は潤沢とみられることから、今後も価格の低迷が続くものと考えられるが、出荷制限のなされていない品目であり、風評被害の防止に努めることが必要である。 また、値頃感から需要がでてきており、今後の推移を注視したい。	はくさいの入荷量と卸売価格の推移	レタスの入荷量と卸売価格の推移
	<div>東京都中央卸売市場</div> <div>ほうれんそう等の出荷制限指示</div>  <div>資料：ペジ探、（原資料）農水省「青果物日別取扱高統計結果」</div>	<div>東京都中央卸売市場</div> <div>ほうれんそう等の出荷制限指示</div> 

【大規模生産者・法人の皆様への窓口を開設しました！（直接契約課）】  
★野菜ソムリエの旬ナビゲーション「ペジシャス」 [http://www.alic.go.jp/v-suishin/vaiukyu01\\_000076.html](http://www.alic.go.jp/v-suishin/vaiukyu01_000076.html)  
●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、須藤 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484